

## ▲編集後記▲

植草学園大学研究紀要も本巻で第4巻を数えます。この間、共同研究費や科研費によって数多くの研究がなされ、その結果としての研究論文が掲載されてきました。

本学の紀要に投稿頂きました原稿は、各学部の特徴を活かし、原稿ごとにそれぞれの学部で選ばれた教員2名の責任において各々の原稿の査読を実施し、修正と校正を経て掲載しておりますが、最終原稿のチェックは著者自身にお願いしています。

すべての英文抄録は、英語を母国語とする教育関係者の確認を得ておりますが、投稿論文の内容すべてを完全に抄録上に表現できているとは限りません。この点をご了承ください。また、発達教育学部と保健医療学部では投稿論文のスタイルや文献の引用に相違が見られるところがありました。しかし、編集委員会では、著者の主張とその論文を尊重して、そのまま掲載することにいたしました。

今後は紀要の特性を生かし、協同研究活動をさらに活性化させることができると考えています。

早いもので、植草学園大学もこの3月に創立4年目を終えることになりました。いよいよ初めての卒業生をこの4月に社会に送り出すことが出来ます。この機会をひとつのけじめとして、更に研究と教育の充実した大学を目指し、教職員は一体となって、大学の発展のために、日々努力したいと思っています。

今後も、ご意見を頂きながら、更に紀要の改善をして行きたいと考えております。

2012年2月15日

### 『植草学園大学研究紀要』編集委員会

齋藤基一郎	(植草学園大学保健医療学部)	委員長
桑田良子	(植草学園大学発達教育学部)	副委員長
阿部 勉	(植草学園大学保健医療学部)	委員
多田昌代	(植草学園大学発達教育学部)	委員
遠藤隆志	(植草学園大学発達教育学部)	委員